

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表: 平成30年 10月1日

事業所名

キッズコミュニケーションサポート ゆめの森こども園
古民家 ゆめの森こども園

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|------------------|----|--|----|---------------|-----|--|
| 環境・ 体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | 14 | 0 | 0 | |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | 14 | 0 | 0 | |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | 6 | 2 | 6 | ・設備等は準備済で、該当者があればすぐに対応できるようにしています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している | 11 | 3 | 0 | ・日々の振り返りやミーティングを行うことにより、職員間の周知を行っている。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | 14 | 0 | 0 | ・今回の評価表の結果を受け、至らなかった点を改善しよう努めます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | 14 | 0 | 0 | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | 0 | 8 | 6 | ・今後協議し、改善に努めます。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | 14 | 0 | 0 | ・積極的に研修に参加し社内に持ち帰り、社内研修によって職員の資質の向上を目指しています。 |
| 適切な 支援の 提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 11 | 3 | 0 | ・児童や保護者の方の意見を尊重し、サービス計画を作成するようにしています。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | 5 | 8 | 1 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | 13 | 1 | 0 | ・職員がそれぞれ意見を出し合い、活動プログラムを決めています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | 13 | 1 | 0 | ・上記と同様で様々な意見を出すことにより、固定化しないようにしています。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | 12 | 2 | 0 | ・平日、休日、長期休暇に応じて子どもたちとともに目標、目的を持って活動を決めています。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している | 14 | 0 | 0 | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | 11 | 3 | 0 | ・職員間でその児童の特性などを共有することにより、関わり方等を気を付けています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | 11 | 3 | 0 | ・その日気になった点や変わった点については、毎日職員間で話し合うようにしています。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | 14 | 0 | 0 | ・各児童の目標に沿った支援の内容を記録するよう心がけています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 12 | 2 | 0 | ・半年に毎にサービス計画の見直しをしています。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている | 11 | 3 | 0 | |

| | | | | | | |
|--------------|----|---|----|----|----|--|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | 14 | 0 | 0 | ・児童発達管理責任者と担当職員が参加しています。 |
| | 21 | 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている | 14 | 0 | 0 | ・先生方ともしっかりと情報共有をしています。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | / | / | / | ・該当児童がいないため評価はしていません。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | 12 | 2 | 0 | |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | / | / | / | ・該当児童がいないため評価はしていません。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | 6 | 8 | 0 | ・必要に応じて今後連携していきたいと思います。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | 0 | 3 | 11 | ・通常、児童クラブや児童館との交流はありません。 |
| | 27 | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している | 0 | 3 | 11 | ・積極的に参加するように努めます。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | 12 | 2 | 0 | ・日々のお迎えや送迎時に、定期的に保護者の方と連絡を取り合い、様子等を伝えています。 |
| 保護者への説明責任等 | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている | 1 | 10 | 3 | |
| | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | 10 | 4 | 0 | ・施設入所前に説明するようにしています。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | 9 | 5 | 0 | |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | 2 | 12 | 0 | ・活動の支援は行っているが、保護者会を開いての保護者同士の連携はできていないため、しっかり行うようにしていきたいと思います。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | 6 | 8 | 0 | ・苦情の内容によっては、すぐに対応できないこともありますが、できる限り迅速に対応できるように努めていきます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | 4 | 10 | 0 | ・最近では発信があまり出来ていないため、保護者の方にも周知してもらうよう発信をしていきたいと思っています。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | 14 | 0 | 0 | ・今後も適切に管理できるよう気を付けて努めます。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | 14 | 0 | 0 | ・子どもの状況に応じて、視覚的に掲示したり声掛けなど子どもの理解に合わせ配慮している。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | 0 | 14 | 0 | ・今後お知らせしていきたいと思っています。 |

| | | | | | | |
|---------|----|--|----|---|----|--|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | 10 | 4 | 0 | ・マニュアルはあり訓練もしているが、周知はできていなかったため、文書に起こして周知するようにします。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | 14 | 0 | 0 | ・訓練は定期的に行っています。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | 14 | 0 | 0 | ・社内研修をすることにより、職員にしっかりと伝えていきます。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 0 | 0 | 14 | ・身体拘束を行うことはしていません。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | 14 | 0 | 0 | ・入所前にきちんと確認し、気を付けて調理をするようにしています。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | 14 | 0 | 0 | ・ヒヤリハットはきちんと記録し、職員全員に周知するようにしています。 |